

平成16年9月3日

各 位

株式会社アプラス
(コード番号 8589)
株式会社新生銀行
(コード番号 8303)

アプラスと新生銀行との全面提携について

株式会社アプラス(代表取締役社長 杉山淳二 以下:アプラス)と株式会社新生銀行(代表執行役会長兼社長 八城政基 以下:新生銀行)は、本日、全面的な業務・資本提携を行うことについて最終合意いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業務・資本提携の趣旨

- (1) アプラスは、多様化・高度化が進むお客さまのニーズにお応えしていくために、『リテール金融サービス開発企業』を事業ビジョンとして掲げ、今年度を最終年度とする第四次中期経営計画『アプラス革新計画 New Challenge』に取り組んでいます。その実現に向け、ショッピングクレジット事業・カード事業・消費者金融事業等の「コア事業」に経営資源を集中し、高い事業競争力を確保していくことを目指しております。
- (2) 新生銀行は、“ノンバンクビジネス”を投資銀行業務、リテールバンキング業務に次ぐ第三の戦略の柱と位置付け、積極的な事業展開を図っていく方針です。すでに新生ビジネスファイナンス(株)による中小事業者向け融資、新生プロパティファイナンス(株)による住宅ローンを含めた不動産担保金融、新生セールスファイナンス(株)による個品割賦事業など、業務分野の拡大を進めてまいりました。
- (3) 本提携によって、アプラスは新生銀行がグループ機能を通じて展開する“ノンバンクビジネス”戦略の中核となります。さらに、ノンコア事業の分離や第三者割当増資などにより、抜本的な財務内容の改善が図られることにより、積極的な事業展開が可能となります。一方、新生銀行は、本提携を機に、全国に展開する強固な営業店ネットワークと長年にわたり培われてきた優れた人材・ノウハウを有するアプラスをグループ化することにより、“ノンバンクビジネス”の一層の強化が図られ、グループ全体での収益基盤の拡大、安定化を実現できると考えております。

2. 資本提携の概要

- (1) 新生銀行による350億円の第三者割当増資の引受(9月末までに実施)
- (2) 株式会社UFJ銀行が保有するアプラス優先株式(額面300億円)を新生銀行が全額譲受
- (3) これらの実施により、新生銀行はアプラスの発行済普通株式の3分の2超を保有
- (4) 本提携以降、株主総会特別決議を経て定款を変更し、速やかに必要かつ十分な資本充実を図る予定

3. 今後の事業計画

【コンセプト】⇒新生銀行グループの“ノンバンクビジネス”戦略の中核としてグループ全体での収益基盤の拡大、安定化を実現

- A. 新生銀行グループが展開する“ノンバンクビジネス”戦略の中核として、ショッピングクレジット事業をプラットフォームとした「コア事業」の事業競争力の向上および新生銀行グループにおけるシナジー効果の追求による収益の極大化
- B. 最良な資金ポートフォリオの構築による資金調達構造の最適化
- C. 新生銀行グループの先進的ITを活用した共通プラットフォーム導入等によるコスト削減

【ご参考】本件に関連する本日付公表のその他のリリース
アプラス

- ① 会社分割による不動産担保融資等に係る信用保証事業の分社化のお知らせ
- ② 債務免除等の金融支援に関するお知らせ
- ③ 第三者割当による新株式発行、自己株式の処分および主要株主の異動に関するお知らせ
- ④ 固定資産の譲渡に関するお知らせ
- ⑤ 平成17年3月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ

新生銀行

- ① 株式会社アプラスの経営権取得に関するお知らせ

以 上